

全自動のタイヤチェンジャーを実演する
小野谷機工のブースは16日、東京都江東
区の東京ビッグサイト



小野谷機工(越前市)

都内展示会に最新機器

国内最大規模の自動車整備機器の総合展示会第36回オートサービスマシンが16日、東京都江東区の東京ビッグサイトに始まった。県内からタイヤチェンジャーメーカーの小野谷機工(本社越前市家久町、三村健二社長)が出展。ホイールからタイヤを脱着する「タイヤチェンジャー」の最新モデルなどをPRしている。18日まで。同展示会は、一般社団法人「日本自動車機械工具協会」が隔年で開催している。今年もメーカー、商社など111の企業、団体が出展した。小野谷機工は、タイヤチェンジャー、ホイールの重心を

タイヤ脱着省人化PR

調整する「ホイールバランス」の最新モデルなど約20点を展示、実演している。業界の人手不足を受け省人化につながる製品として、全自動のタイヤチェンジャーも参考出品。ペダル操作だけでホイール

ルからタイヤが取り外される様子を、来場者は興味深げに見入っていた。

同社の川崎雅彦販売促進企画部長は「国内唯一のタイヤサービスマシンメーカーとして、お客さまの声にこたえる機器を開発している。最新の機器を多くの人に見ていただきたい」と話している。(新屋安弘)